

# 藤久保地域拠点施設 第5回検討委員会資料

令和2年5月18日  
三芳町

## 1. 第4回委員会の振り返り

---

# 1. 主なご意見

	主なご意見	対応方針
配置計画	<b>校舎北側に校庭を配置することへの懸念あり。</b>	<b>本日資料参照。</b>
	複合施設の配置を工夫することによって小学校の日照を確保する工夫ができないか。	次年度に具体プランを作成しながら検討。
	道路拡幅工事によってPTAが管理している花壇がなくなる場合は事前に情報共有と協議をお願いしたい。	了解した。
平面計画	<b>西側に普通教室を配置すると日の当たらない時間が長くなるためふさわしくない。児童が長い時間を過ごす普通教室は南側が望ましい。</b>	<b>本日資料参照。次年度に具体プランを作成しながら検討。</b>
	公民館諸室が減ることによる団体活動に支障発生する懸念あり。	時間別稼働率の検討を深堀。運営の工夫を検討。
	図書館の閲覧席数について検証いただきたい。	次年度に具体プランを作成しながら検討。
	管理諸室（バックヤード）は十分か検証いただきたい。	
	全体面積に制約がある中でテラス等のスペースは必要か。	
	防災、防火に関する検討も必要。	
	郵政宿舍の活用についても検討してほしい。	回答保留。
	民間施設については積極的な地域貢献を求めてほしい。	次年度に民間事業者へのヒアリングを実施し検討。
西側敷地に公共施設が入る可能性はないのか。また公共施設側に民間施設が入ることはないのか。		



## 2. 本日の資料

---

# 1. 配置計画

## ◆配置計画

(1) 案Ⅱと案Ⅲについて日影図を作成した。(資料2 P1~3)

- 案Ⅱ：小学校を敷地北西側に配置、公共施設を敷地南側に配置
- 案Ⅲ：小学校及び公共施設を敷地南側に配置

- ✓ 午前中の校庭への日照については案Ⅱのほうが日陰となる割合が小さいが、案Ⅲは案Ⅱと比較して校庭面積が広い**ため、トラック部分の日照については大きな差は無い。**
- ✓ 日照面だけでは明確にどちらの案が優位とは言えないため、建替えにかかる費用や期間など、他の要素も含めて継続的に検討することとする。

(2) 校庭が校舎北側となった場合の対応策を整理した。(資料2 P3)

- ✓ 校庭の日陰部分については**人工芝やゴムチップ等の対応策**が考えられる。整備費の差については精査が必要。また日陰部分を駐車場として活用することも考えられる。
- ✓ 継続的に検討することとする。

## 2. 平面計画の検討

### ◆ 普通教室の位置に関する検討

- 配置案Ⅲについて、前回の平面計画案（普通教室を南側と西側に配置）に加えて、普通教室を南側に配置する案を作成した。（資料2 P4～7）
- 西側に普通教室を配置した時の対応策を整理した。（資料2 P4～7）
- コミュニティスペースのイメージを検討した。（資料2 P8）
  - ✓ 案Ⅲにおいて普通教室を南側配置することは可能。この場合、校舎が東西方向に伸びるため、校庭への日照に影響あり。
  - ✓ 西側教室については日除け等の設置による対応策が考えられる。
  - ✓ 配置計画と合わせて継続的に検討することとする。

### 3. 2020年度の進め方

- 上半期に建築計画（平面、立面、断面）の検討と概算算出を行う予定。
- その後下半期に「基本計画書」を作成したうえでパブコメを実施し、その後取りまとめる。

#### 【次年度スケジュール案】

		第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期
基本計画 策定	事務局	建築計画検討	概算算出・ 基本計画書 案作成	庁内調整 パブリックコメント	基本計画書作成
	検討委員会	▼第六回	▼第七回	▼第八回	▼第九回 ▼第十回
(参考) 事業手法調査		民間企業へのヒアリング	長期収支計画検討		事業手法絞り込み

#### 【委員会議題案】

第六回委員会	第七回委員会	第八回委員会	第九回委員会	第十回委員会
• 建築計画の検討状況報告	• 建築計画のまとめ報告	• パブコメ用資料の確認	• パブコメ結果と対応方針の報告	• 基本計画書の確認

**(参考) 前回資料**

---



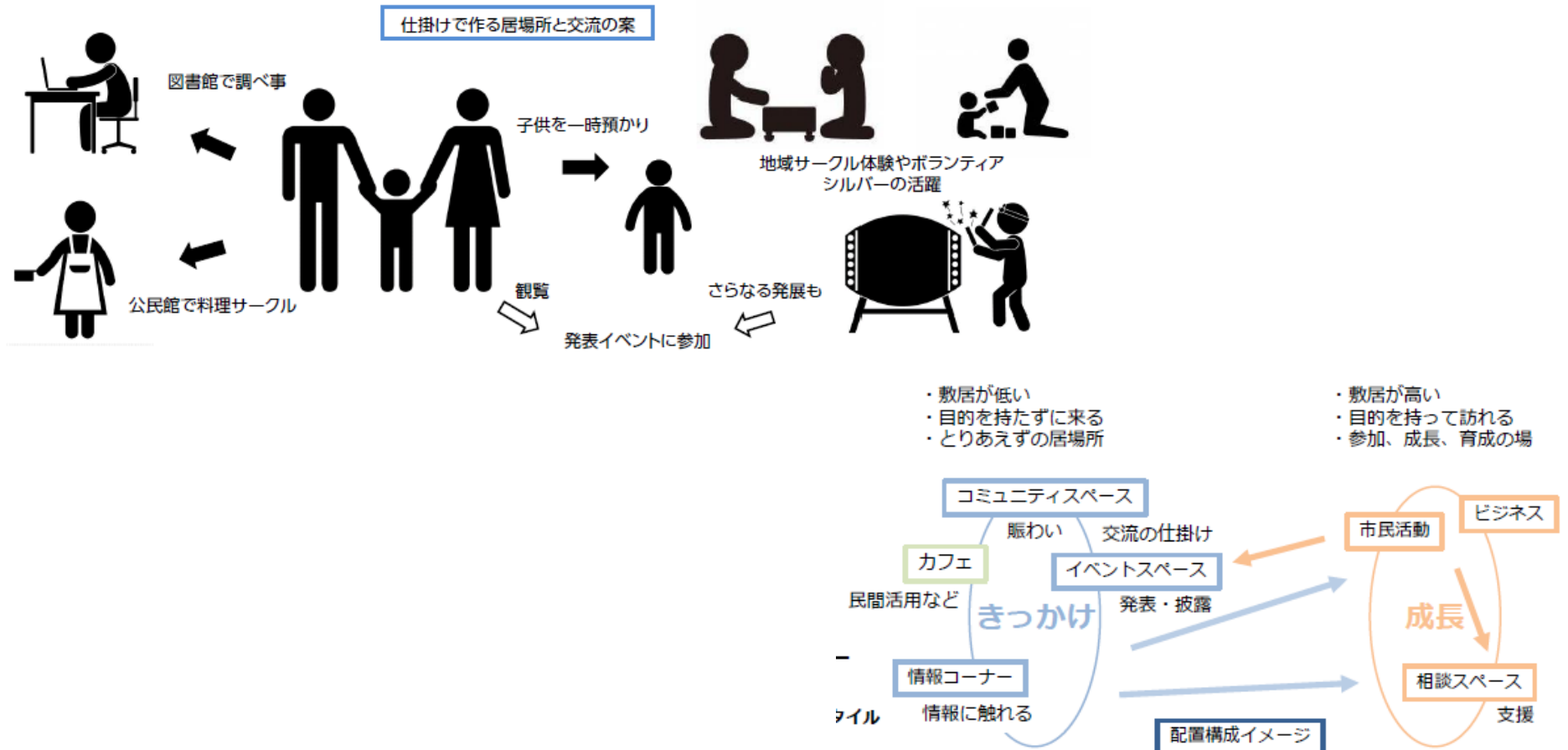
# 1. 配置計画について

---

- A3資料を参照。
- 仮設校舎を建設しないことを優先する場合、案Ⅱと案Ⅲが有力。
- 案Ⅱでは図書館等の複合施設と小学校校舎が離れる。特別教室の一般開放を積極的に行う場合、やや動線が長くなることが懸念点。
- 案Ⅲではグラウンドが北側配置となるため、グラウンドの一部が日陰となることが懸念点。日影図を作成し更なる検討を行う。

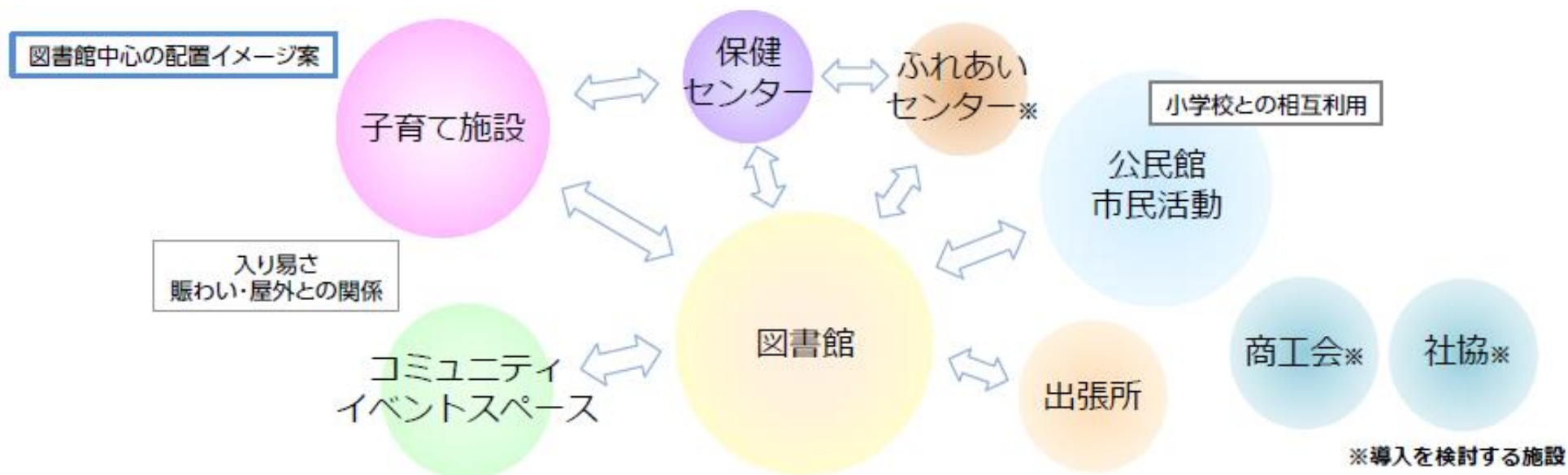
# 1. 複合施設の基本的な考え方

- 本施設が「情報発信拠点となり新たな出会い・交流を生み出すこと」、「様々な年齢・目的の利用者にとって居場所となること」、「活動団体の交流を生み出し新たな活動を生み出すこと」を目指して、いままで別棟でばらばらに運営されていた施設を、一体化・複合化し、サービス提供も一体的に行う。



## 2. 核となる施設・サービス

- 中心的な施設として、住民の利用率が高い図書館を位置付ける。
- 図書館は、全年齢が集える施設であるとともに、知識や資料が活動の中心となる。



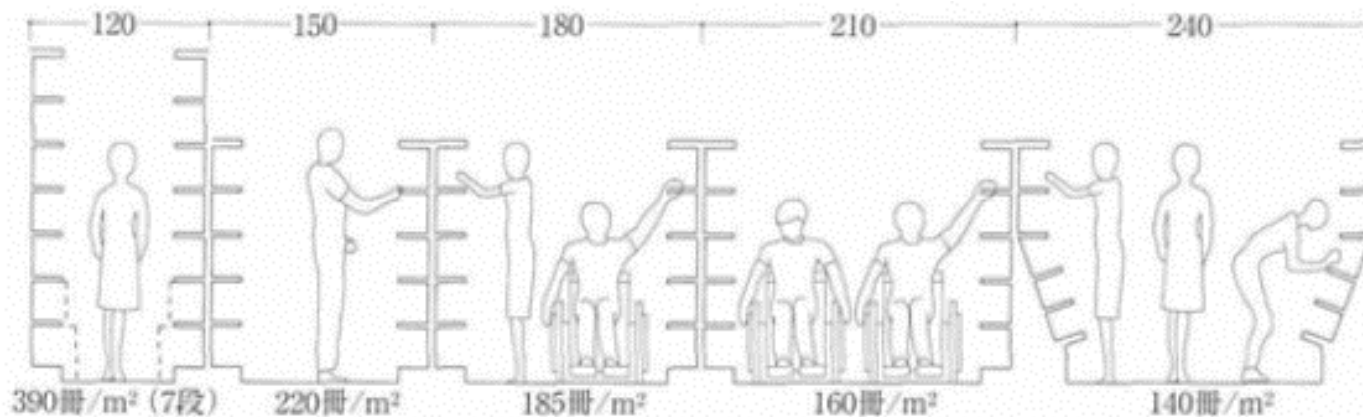
### 3. 図書館のバリアフリーおよび規模設定

- 既存図書館の書架は、バリアフリーや快適性の観点から課題がある。
- 利用者の快適性、将来的な利用者の高齢化等を見込み、本施設では書架ピッチと段数をバリアフリーに配慮した一般的な水準に設定する方針で検討している。

	既存施設	
	収容冊数	面積
開架書架	148,940冊	587m <sup>2</sup>
閉架書架	123,471冊	102m <sup>2</sup>



新規施設	
書架ピッチ	面積
1.5m、段数5段	880m <sup>2</sup>
1.8m、段数5段	1,050m <sup>2</sup>
移動棚、段数7段	180m <sup>2</sup>

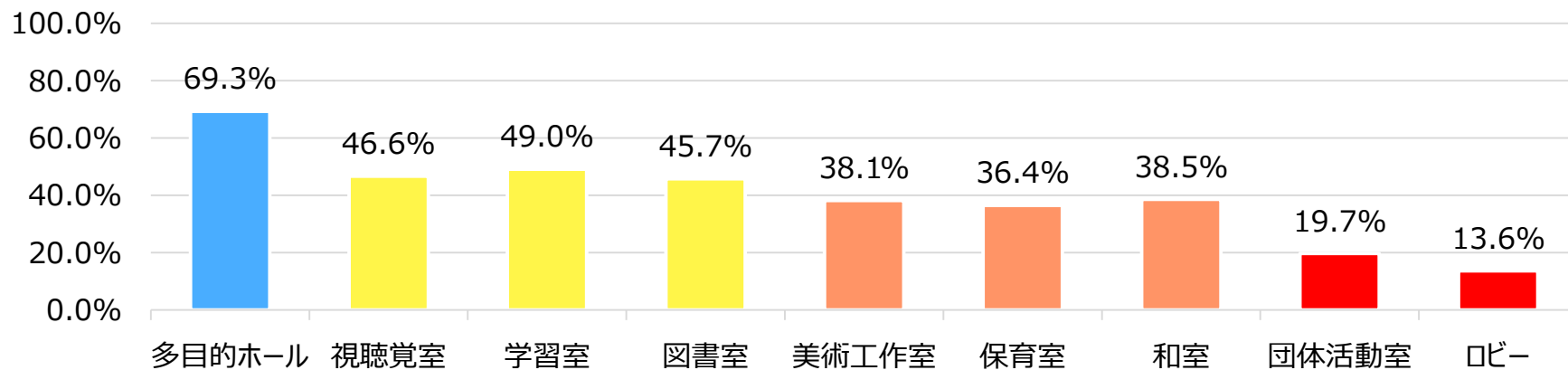


出所：日本建築学会建築設計資料集成

## 4. 稼働率

- 総延床面積の上限がある中で図書館を適正規模とすると、その他の諸室に影響がある。そこで、主に公民館を対象に時間別稼働率を分析した。
- 多目的ホール以外については時間別稼働率の改善余地がある。

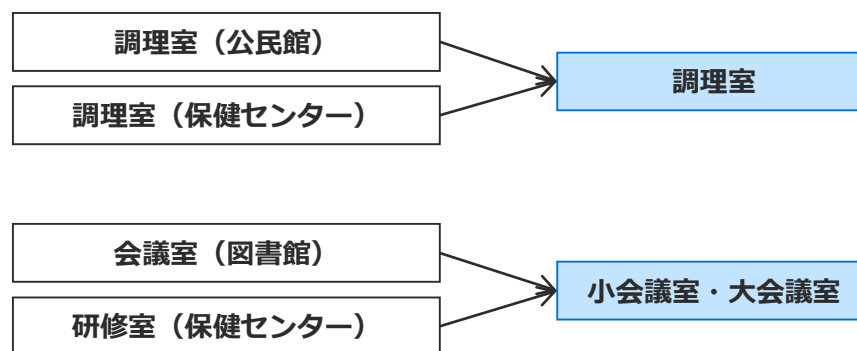
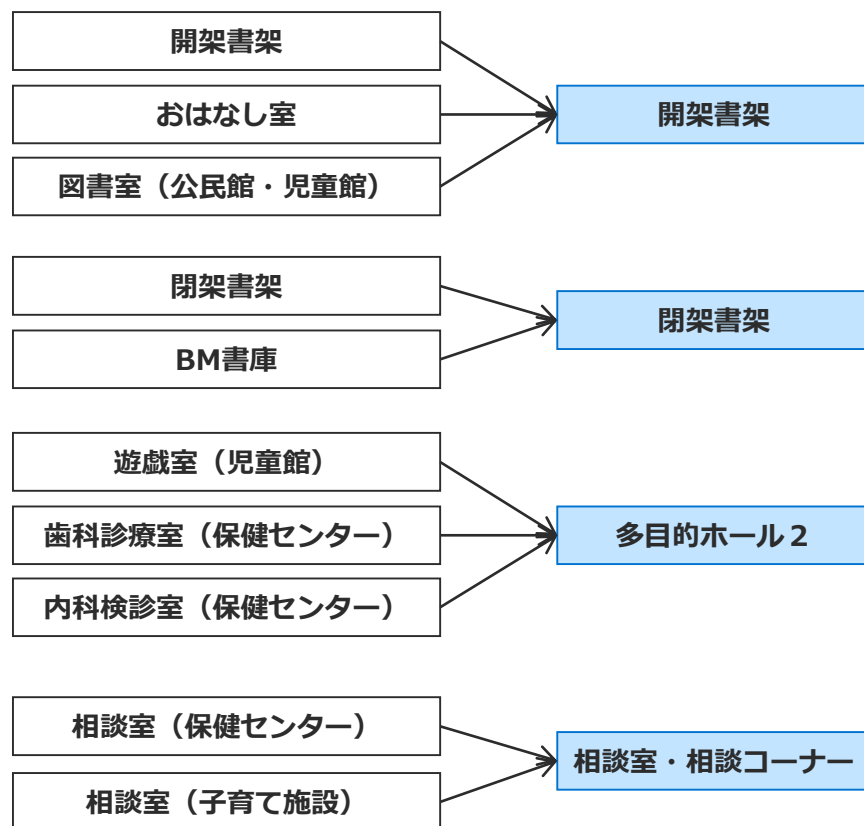
公民館諸室の時間別稼働率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
多目的ホール	68%	62%	69%	69%	55%	71%	69%	79%	70%	65%	82%	73%	69%
視聴覚室	41%	43%	41%	45%	33%	45%	57%	60%	48%	50%	46%	50%	47%
学習室	51%	43%	55%	43%	39%	44%	47%	62%	49%	46%	58%	54%	49%
図書室	39%	42%	51%	42%	34%	42%	51%	61%	42%	44%	55%	45%	46%
美術工作室	35%	32%	40%	35%	26%	34%	45%	53%	42%	32%	38%	46%	38%
保育室	26%	28%	33%	31%	25%	32%	66%	52%	36%	34%	36%	37%	36%
和室	39%	25%	37%	41%	24%	29%	39%	52%	41%	41%	46%	48%	39%
団体活動室	16%	14%	16%	14%	14%	18%	18%	38%	28%	17%	23%	22%	20%
ロビー	0%	0%	0%	0%	0%	0%	47%	14%	8%	4%	4%	83%	14%

## 5. 諸室共有化の考え方

- 別紙面積表とモデルプランを参考。稼働率向上を見込みいくつかの室は共有化を図る。
- 本町における藤久保地域の位置づけ、また団体ヒアリングや先進事例を参考に、本施設において新たに求められる諸室を想定。

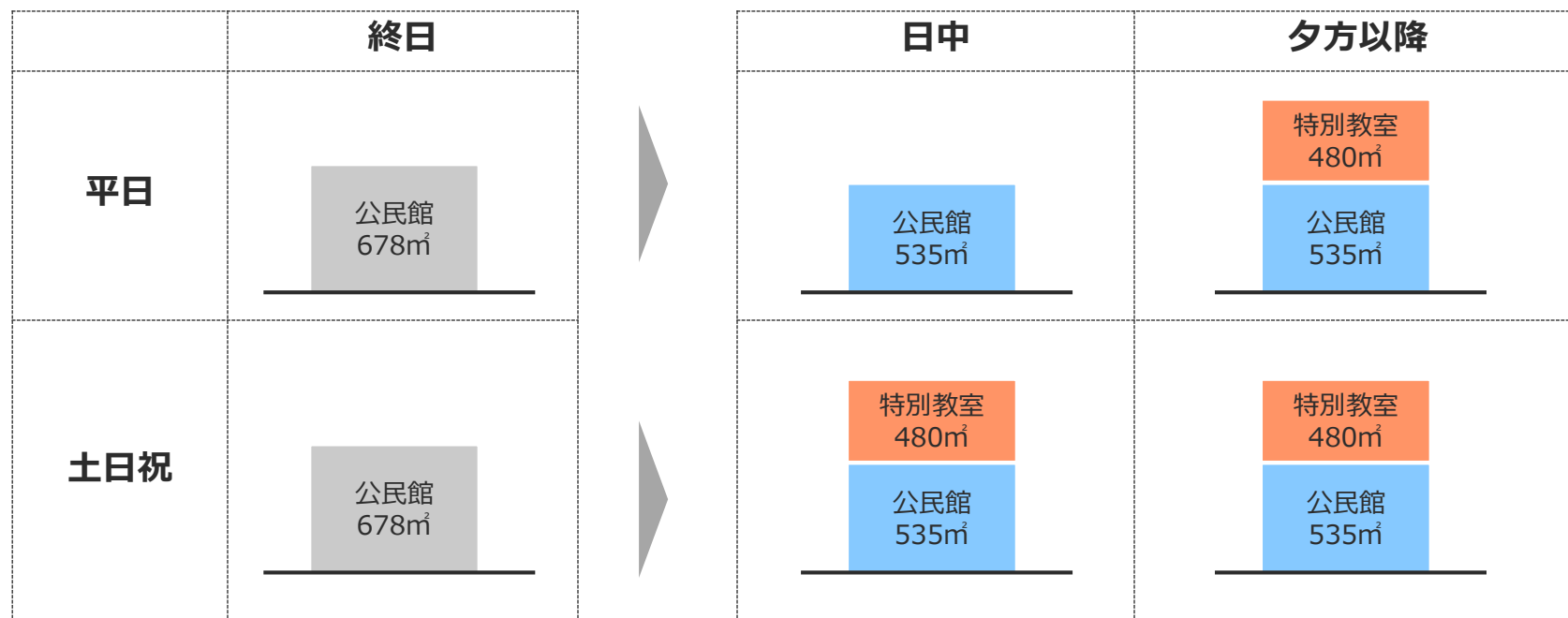


新規諸室・スペース	
名称	面積
コミュニティスペース	200㎡
コワーキングスペース	50㎡
事務室	50㎡
倉庫・用品庫	70㎡

→民間整備の可能性も探る。

## 6. 運営上の工夫～特別教室の活用

- 運営上の工夫により公共施設の稼働率を高めることで、貸室利用の快適性・利便性を高める。
- 小学校の特別教室を平日放課後及び休日・祝日に一般開放。
- 特別教室の稼働率を高めることで、全体として利用可能な諸室を増加させる。



※現時点の案です。学校開放の範囲、セキュリティ等の対応方針は継続的に検討します。

## 6. 運営上の工夫～予約システムの改良

- 予約枠（いわゆるコマ割）を細かく設定するとともに、予約システムを導入することで、貸室の稼働率を高める。
- また活動内容や年齢等によって先行予約の仕組みを導入することも検討する。

### 予約枠の改善

- 予約枠を30分刻みなど細かく設定することで、利用者にとって最適な枠をピンポイントで予約することが出来るようになる。
- 予約者や予約団体のID登録等を行えば、どの団体がどの程度利用しているのかを把握し、最適化に役立てることが出来る。



### 先行予約の導入

- 目的性の高い諸室などは、その目的にあった活動内容の団体の先行予約を受け付けるなどの方法が考えられる。
- 世代別の生活スタイルに合わせて、予約枠を設定することも考えられる。

音楽活動  
優先 等

高齢者  
優先 等